

3D表示

Rの壁の天端目地を綺麗に表示させたい(RIKCAD7以降)

RIKCAD7以降では下記の設定を行うことで天端の目地を綺麗に表現することができます。

1. メニューバーオプションより環境設定 > 計測単位/規則を開き、画面左上の項目を「レガシー」もしくは「組み立て要素」を選択
2. レガシーオプション [モデル要素に以前の包絡処理法を利用] のチェックを外します。



プロジェクト設定

レガシー

スラブ メッシュ オブジェクト

配置フロアの階上: DOT 配置フロアの階下: DOT

注記: これらは、設定ダイアログの[オブジェクトの線種を上書き]チェックボックスがオンの場合にのみ、ライブラリの部品で有効です。この設定は開口部や参照されている要素には反映されません。

レガシーオプション:

単一平面屋根と天窓を平面図でシンボル表示 ⓘ
ARCHICAD 14またはそれ以前と同様

モデル要素に以前の包絡処理法と材質を利用 ⓘ
ARCHICAD 16またはそれ以前と同様

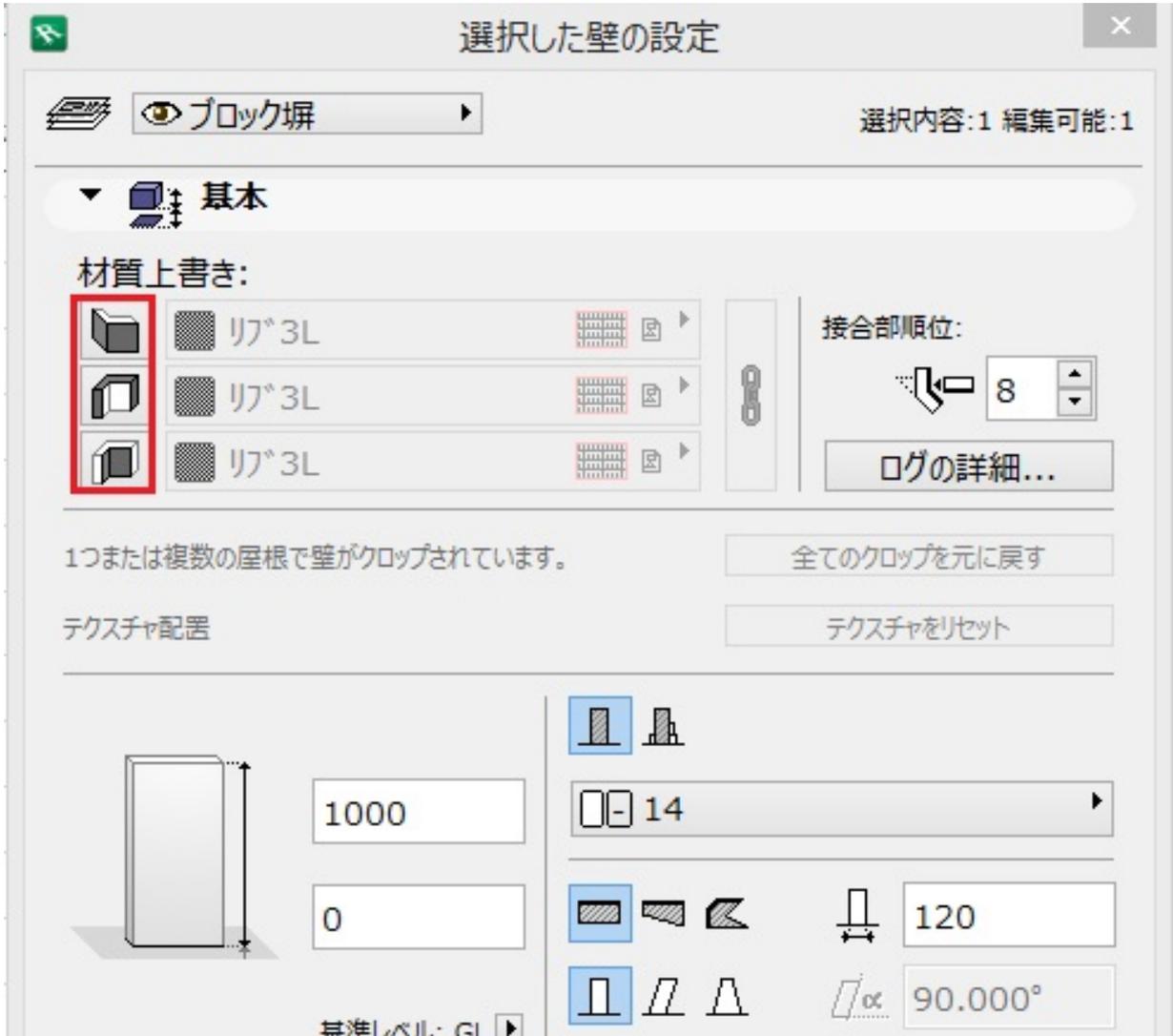
柱と梁のグローバル優先度: 16

このチェックボックスをオンにすると、一部の新機能はサポートされません。ARCHICAD 16以前のファイルを開いていない限り、これは使用しないオプションです。

キャンセル OK

3D表示

- 上記の設定を行うとすでに配置している壁が黒く表示されますので壁を選択し、右クリック [選択した壁の設定] を開きます。
材料名の横にある3つのアイコンの上で、それぞれクリックします。



- ツールボックスの壁の設定も変更する必要がありますので、ツールボックス > 壁ツールより設定画面を開いて、材料名の横の3つアイコンの上でそれぞれクリックしてください。

レガシーオプション [モデル要素に以前の包絡処理法を利用] のチェックを外すことで他の図面にも適用されます。
設定された図面以外も3.4.の手順を行ってください。

3D表示

一意的なソリューション ID: #1352

製作者: 大木本

最終更新: 2022-03-29 04:42